

まちを支える

～町立図書館とともに36年～

坂城町立図書館 おはなし会

おはなし会は、ボランティアにより毎月第2土曜日に行っています。ふり返っていると、町立図書館が開館したのは今から37年前(昭和60年6月)ですが、おはなし会は翌年の1月にはスタートしました。最初は図書館の司書さんや児童館の方など10人くらいのメンバーで、毎回30人以上の子どもたちと親御さんが来ていました。時間は1時間くらいで、前半に絵本を読んだ後半は作業をします。12月はクリスマス会ですが、そのときは200人くらい来て会場がいっぱいになりました。帰りにプレゼントを渡すのですが、足りなくなつて困ったこともあります。当時はまだ、お嫁さんはお姑さんの手前、自分の

用事では外出できなかった時代です。図書館なら子どもたちの本を借りるのですから出かけられます。図書館は大事な場所でした。子どもにとって本に親しむことは大切です。図書館にぜひ連れてきて絵本を借りて、読んで聞かせてあげてください



い。同じ本を何度でも読んで読んでというかもしれない。が、読んであげてください。そのうちに自分でも読むようになります。子どもころに習慣がついていると、大きくなってからも本が好きになります。本を読むことで楽しい思いをしてもらいたい。図書館の敷居を低くするために、おはなし会をずっと続けていきたいと思います。(おはなしの会代表 春口和子)



つれづれに

子ども達に伝えたい。

みんなが住んでいる地球にはいろいろな国があり、いろいろな人が住んでいる。領土とは何なのだろう。戦うとはどういうことなのだろう。そもそも平和とはなんだろう。何が正しくて何が正しくないのか。そして何より命とは何なのだろう。自分の頭で考えなければならぬことがたくさんある。

生きていくうえで大切なことは「自分で決めて、自分の言葉に責任を持つこと」。

みんなの人生は、フリー(自由)で、フラット(対等)で、ファン(楽しい)ですから。

(柘津明子)

発行責任者 議長
議会報編集委員会 長

委員長 大森 茂彦
副委員長 山城 峻一
委員 吉川まゆみ
中島 新一
柘津 明子

小宮山定彦